

苫小牧市地域公共交通活性化協議会

平成20年9月22日設置



概要

苫小牧市では、市営バスが市民生活を支える公共交通機関として都市基盤の一役を担ってきたが、交通手段の変化などによりバス利用者は年々減少し、市財政を圧迫する状況から平成24年度に経営を民間に移譲することとなっている。民間移譲後も市民の交通手段として持続していく必要があることから、快適なバス待ち環境の確保、市内各公共交通機関の接続連携や中心市街地と郊外のアクセス向上などによる利便性の高い公共交通体系の確立等に向けた調査検討を実施する。

地域公共交通の現況

- ・JR室蘭本線、千歳線、日高本線
(苫小牧、錦岡、糸井、青葉、沼ノ端、勇払、植苗駅)
- ・苫小牧市営バス(市内23路線)
- ・道南バス(株)(都市間6路線)
- ・北海道中央バス(株)(都市間1路線)
- ・あつまバス(株)(都市間2路線)

地域公共交通の課題

- ・市営バスの民間移譲
- ・郊外地域の需要に応じた新たな公共交通手段の確保

調査の主な内容

- ・現況交通実態調査
- ・利用者ニーズ把握調査(アンケート調査)
- ・デマンドバス、コミュニティバス導入の検討

策定する地域公共交通総合連携計画の構想(予定)

- ・デマンドバス、コミュニティバスの導入
- ・快適なバス待ち環境の確保
- ・市内各公共交通機関の接続改善
- ・中心市街地と郊外地とのアクセス向上

